

■戸田藤一郎　プロゴルファー。戦前に全盛期迎えるも追放され、敗戦後に復帰した日本オープンで優勝し、伝説化。
とだとういちろう
第一次大戦始1914＝　兵庫県武庫郡魚崎町で、岡山池田藩士末裔の左官業阪野良衛の長男に生まれる。

母みねの旧姓が戸田で、のち新聞誤記以来そのまま戸田姓名乗る。

姉2人・妹3人の女ばかりの兄弟に育ち、

大暴落・・・1920＝6歳：　魚崎尋常小学校に入学。
水平社結成・1922＝8歳：　頭良く、成績は常にトップの一方、運動神経も抜群の負けず嫌いで、戸田家のすぐ近くにイギリス人ロビンソンが開場したゴルフ場をもとに〔甲南ゴルフ倶楽部〕がオープン、クラブハウスとして使われ外人も出入りする農家福井家で、ロビンソンのキャディーから日本プロ第一号となる福井寛治と出会い、キャディーで稼げることを知り、働き始める。
関東大震災・1923＝9歳：　支配人から古いボールを貰い、父に形だけのクラブを作って貰うなどして、のめり込み始め、時々来ていたにロビンソン気に入られ、本物のクラブを貰うと、猛練習。キャディー大会でドラコン取り人気者に。
護憲三派圧勝1924＝10歳：　倶楽部にスコットランドのプロ選手が訪れ、会員にレッスンしたのにも影響を受ける。
円本時代始・1926＝12歳：　学校にはほとんど行かず、度々問題化するうち、厳しかった母みねもついに進学を断念。茨木カントリー倶楽部で東西対抗プロトーナメントが開催され、第一回関西オープンで福井が優勝、その福井にも天分を認められるようになり、
海軍軍縮条約1930＝16歳：　新設の〔広野ゴルフ倶楽部〕専属プロに招かれるも体調崩した福井に代役に推薦され、福井は結核で死去。
満州事変・・・1931＝17歳：　〔甲南ゴルフ倶楽部〕でプロ資格を得ると、
五一五事件・1932＝18歳：　茨木での日本オープンに初出場。福井の弟子で向かうところ敵なしの宮本留吉の偉大さを知り、一層の猛練習で、身長伸びもとまってしまうが、〔広野ゴルフ倶楽部〕正式開場後、
国際連盟脱退1933＝19歳：　*福井に託されていた柏木健一の助手として入社し、所属プロとして初出場の関西オープンで初優勝。家に預けた賞金が父の事業に使われてしまったのを知り、以後実家に帰らず。プレッシャーで成績も下がり、
帝人疑獄事件1934＝20歳：　関西プロで強豪宮本を破るも、台風で広野での日本オープンが中止、自宅も水害にやられ、〔甲南ゴルフ倶楽部〕は閉鎖など消沈するが、日米対抗派遣選考会で選ばれ、初めて渡米。注目されるも身の小ささ痛感、
芥川直木賞始1935＝21歳：　帰国。新技術を開発、渡米選手模範競技で優勝、日本プロ選手権でも優勝後、アメリカの招待で再渡米。
二二六事件・1936＝22歳：　賞金元手に転戦し、ハリウッドオープンで二位となり、日本人として初めて、マスターズに招待され、全米オープンに出場に至る。期間全体でランク22位、獲得賞金は1000ドル超える金字塔を打ち立て、帰国。
日中戦争始・1937＝23歳：　嫉妬する会員から屈辱され、成績も振るわなくなって、生活が荒れたため、忠告されて結婚、
健保+総動員　1938＝24歳：　長男が誕生。日本オープンで優勝するも、賞金は浪費してしまい家は火の車。日本プロ選手権優勝、
第二次大戦始1939＝25歳：　*歴史に残る名勝負の日本プロ選手権優勝で、日本のグラندスラマー第一号になり、
大政翼賛会・1940＝26歳：　日本プロ選手権で絶頂期たる試合ぶりを示したが、長女死産で酒びたり、妻とは絶縁状態、
日米開戦・・・1941＝27歳：　戦局進展による政府指令で日本プロ選手権が中止になるなか、浮気事件起こし倶楽部から追放される。
・・・1942＝28歳：　実家に戻ると、召集令状が来て出征、
敗戦・・・1945＝31歳：　空襲で戸田家も焼失。スマトラでマラリアに罹り、九死に一生を得たところで敗戦となり、
新憲法公布・1946＝32歳：　復員船で帰還。家に預けてあった清水モト子の看病で、マラリアによる死にそうな状態から脱し、
新憲法施行・1947＝33歳：　戦後復興で景気良い父の左官業を手伝ううち、体力も回復。〔鳴尾ゴルフ倶楽部〕再開の報に再起の思い、
極東裁判決・1948＝34歳：　戸田と見抜いた仕事仲間の奔走でゴルフレッスンの仕事、収入得るも浪費癖も復活。モト子に子産ませ、
三大事件・・・1949＝35歳：　戦後初の関西オープンに出場して優勝するも、素行理由に、プロ資格剥奪され永久追放となり、三好通代と高松に駆け落ち、やがてその噂が広まり、人間的成長も見られるようになって、

朝鮮戦争始・1950＝36歳：　
独立回復・・・1951＝37歳：　四国電力と百十四銀行に口説き落とされ、〔高松カントリー倶楽部〕に迎えられることになり、
55年体制始・1955＝41歳：　城山ゴルフ場開場翌年、ヘッドプロ待遇で再登場、四国初のプロゴルファーとして”戸田道場”幕開け。
国連加盟・・・1956＝42歳：　父が死去。
美智子妃・・・1959＝45歳：　〔高松カントリー倶楽部〕が関西ゴルフ連盟に加盟すると、戸田のプロ復帰運動が高まり、
安保闘争・・・1960＝46歳：　ついに正式な復帰手続き、非公式ながら月例大会に出場、復活の手応え得て、
タイタイ病始・1961＝47歳：　日本プロゴルフ協会にも入会を許され、〔田辺カントリー倶楽部〕社長に招かれ、ようやく落ち着いた生活。
全国総合計画1962＝48歳：　日本プロ選手権に出場するも、マッチプレー方式でなくなっていたため、
TV宇宙中継始1963＝49歳：　2年続けて10位に終わるが、
いざなぎ景気1966＝52歳：　*日本オープンに出場するや優勝、史上最年長チャンピオン。

シニア選手権に優勝して、誰もが最強選手と認めるようになり、
持病となった膝痛に耐え、白内障はサングラスで和らげながら、
震ヶ関ビル・1968＝54歳：　
全共闘ターク・1969＝55歳：　広島で開催された関西プロで、最下位からの大逆転優勝して、底力を見せ、
大阪万博・・・1970＝56歳：　この年まで、シニア選手権に5連勝。
ドルショック・・・1971＝57歳：　迷惑かけた母が死去。供養のためと、関西プロで、2連覇間違いないといわれた杉原輝雄を破って優勝。
沖縄返還・・・1972＝58歳：　再び、シニア選手権に優勝するが、田辺に呼んでくれた恩人高石義雄も急逝して、転機となり、
石油ショック1973＝59歳：　*自ら阿古谷カントリー倶楽部設計に乗り出すも、オイルショックで頓挫し、姿をくらます。
角栄金脈辞任1974＝60歳：　京都でファンに助けられ、出会った角谷京子を内縁の妻に、そば処〔藤十郎〕を始め、

JALハイジャック・1977＝63歳：　

この間も、時々練習場に通う一方、来店する青木功はじめ若手ゴルファーらに伝授するなど、”戸田道場”は続き、

・・・1984＝70歳：　大阪での”くずは国際”に、ともに出場した永遠のライバル宮本留吉に勝利して感激してまもなく、突如十二指腸から出血、手術もできずに、没した。